

2022 年秋学期/アラバマ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

最初に学力を図るためのテストを受けそれにより自分の実力にあったクラスに振り分けられる。授業は先生により進め方などは大きく異なり、先生の話聞くことが主な授業もあれば、アクティビティが毎回ある授業もあった。どの授業もネイティブの先生がそれぞれのレベルにあったスピード、単語で話してくれるので理解も十分できるし、実力も着実につく。

イベントが多い。本場のアメリカンフットボールが無料で見れる。図書館が夜中まで空いている。先生がとても親切で面白い。

先生が生徒を当てる場合と生徒が自主的に発言する2パターンがあった。

テキスト通りだった。

月曜・水曜・金曜は9時から、火曜・木曜は9時半から授業があります。はじめのクラス分けテストで6つのレベルに分けられ、各個人のレベルに合った授業が受けられます。授業の種類としては、1限目がリーディング&ライティング、2限目がスピーキング&リスニング、3限目が文法です。

教科書、配布プリント、パワーポイントを使って授業をする。

レベル分けテストを受け、自分のレベルに合った授業を受ける事ができました。対面授業で、9:00 から始まる日と9:30 から始まる日がありました。基本90分授業で途中に10分休憩がありました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数はだいたい一クラスに多くても10人ほどだった。クラスレベルにより留学生の人数も異なる。レベルが高いクラスほど日本人以外の外国人留学生が多かったように思う。コロンビアなどスペイン語を母国語とする南米出身の留学生が多かった。

多くて10人ほどの少人数クラス。半分くらいは日本人。留学生はベトナム、タイ、サウジアラビア、モロッコ、ヴェネズエラ出身。

私のクラスは、ほとんど関西外大の生徒でした。10人クラスで6人が外大生で4人が他国の人でした。ドバイ、ベネズエラ、コロンビア、ベトナムからの来た方でした。アジア圏からの人はいませんでした。

日本人5人、外国人2人

クラスの人数は10人ほどで、日本人は外大生の5人、留学生も5人くらいでした。私のクラスには、タイ、ベトナム、サウジアラビア、アラブ首長国連邦の方がいました。

日本人が半数だった。他は、中国人やスペイン人、スペイン語を話す人が多かった。

7-8人、日本人8割、タイ、ナイジャー、ホンジュラス、エクアドル、トルコ、UAE、ドイツ、コロンビア

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

先生の話はしっかり聞いて発言する時は自主的に発言し、休憩時間はよく話していた。

分からないところはすぐ質問できる。ボランティアが多い。前に出てプレゼンする時も先生やクラスメイトがオーバーにリアクションを取って反応してくれるのでやりやすかった。

そのクラスにいる生徒によりもちろんクラスの雰囲気は大ききにより異なるが、基本静か進んで発言する人が少ない日本のクラスとは違い、外国人留学生の中には常に発言や質問をする生徒もいる。最初のころはそれに圧倒されるかもしれないが、自分も進んで発言することができるようになる。

みんな積極的に発言していた。
先生も含め、みんなフレンドリーで楽しく、質問もしやすい雰囲気でした。
先生との距離が近く、いつでもわからないことは聞ける環境だったので、私にとってはとても心地が良かった。
アットホームな環境で、わからないところがあれば気軽に聞ける環境でした。私が単位のことやテストのことで不安だと励ましてくれたり、目標点数を達成できた時は一緒に喜んでくれたり、先生方全員が家族のように可愛がってくれました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。
スピーキングの授業の時に、各出身国の音楽を紹介する機会があり、興味深かったので印象に残っています。
各留学生が自国の文化や習慣について紹介するもの。
整形、自分の国の社会問題、死後どうなるか
野外活動で、外に出て、指定された場所に行くために、現地の大学生にインタビューをした。大抵の人は親切に答えてくれて感動した。
家族構成など家族に関する話題を取り上げる事が多かったです。日本ではタブーに近い話題なので、家族をトピックにする面は、家族愛が強いアメリカならではののかなと思いました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。
毎日1番前に座っていた。
積極的に質問、発言する。
とにかくわからないことは授業中や授業後に先生に質問をすること。本当に基礎的なことだけど結局これが一番大切だと思う。わからないままだと困るのはもちろんだが、授業へのモチベーションがなくなってしまう。どの先生も親切に教えてくれるし、その時間にも自分のスピーキング能力やリスニング能力もつく。
わからないことがある時は、わからない、私は理解できていないとハッキリ伝えることです。
毎日授業は真面目に受けて、わからないことはすぐに先生に質問した。
分からないところは分からないとはっきり言うのを心がけました。また、分からない単語が出た時は分からないままにせず調べました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人 (0人)	
1人 (7人)	日本 (7人)

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩 (7人)	0分~15分 (7人)	大学内のカフェテリア (7人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
冷蔵庫、電子レンジ、ベット、机、椅子、クローゼット	シャワーサンダル、毛布
ベッド、枕、マットレス、ベットシーツ、冷蔵庫、電子レンジ、バスタオル	左記のもの以外
ベッド、クローゼット、勉強机、鏡、布団などの寝具、冷蔵庫、電子レンジ	服、薬など基本的なものだけ。用意されていた布団が薄かったため現地で新しく購入していた人も多くいた。日本食も味噌汁などを持って行ったが、現地のスーパーにもいくつか売っている。
ベッドと冷蔵庫と机	布団と毛布
マットレス、枕、シーツ類	ハンガー、ドライヤー
ベッドシーツ、薄めの枕、通気性のいい毛布、電子レンジ、冷蔵庫、クローゼット	シャンプーや化粧水など、美容品系は日本から持ってきました。毛布とクロックスのようなお風呂に入る用のスリッパは滞在先で買いました。何かしらなんとかなりました。夜中の騒音問題がよくあったので、耳栓とかあったらいいなと思いました。
寝具は全てありましたが、ペラペラな布と漁業の人が使うような網の毛布？でした。バスタオルもありました。	ハンガー、延長コード、洗濯カゴ

寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

シャワーサンダルを履く
非常に乾燥している。室内はクーラーが効いていて夏でも寒い。
シャワーやトイレの壁が上下で2、30cmほど空いていたため、初日は戸惑った。それ以外は特別気になることはなかった。
シャワー室とトイレは共同だったのですが、シャワー、トイレともに、上下に大きなスペースがあり、はじめの頃は、戸惑った。
トイレが上と下に隙間があり、最初はとても戸惑いました。
共同シャワーでした。そのシャワーもあまり清潔とは言えずスリッパのまま洗っていました。また、廊下では薬物の匂いもしています。ビーチバレーコートがあるのは日本との違いだなと思いました。知らない人でも挨拶をしてくれたり、身に付けているものを褒めてくれたりフレンドリーな人が多かったです。
汚い

寮生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

シャワーサンダルを買う、シャンプーやボディソープをまとめて運ぶカゴを買う、
1人になれる時間、場所の確保。
国や滞在先により異なると思うが、靴をはいたまま生活するのが一般的な滞在先の場合、丈夫な部屋履き(スリッパやサンダル)を用意することを勧める。現地の人と同じ建物や空間で過ごす場合、様々なことに驚くと思うが、文化が違うので当たり前。深く考えずに、「そういうこともあるか」という風に流す能力、考えが快適に過ごすために一番大切だと思う。
ブランケットは用意されているが、寒くなるとそれだけでは厳しいと感じることがあった。寮の暖房、冷房の切り替え、温度の調節はできないため、ブランケットや毛布があれば安心だと思う。
寮だとルームメイトがいる場合が多いですが、問題が起きることがあると思うので、自分の価値観を押し付けずに話し合いで色々解決していけばいいと思います。
寮の中は夏でも基本寒いので、私は到着してすぐに掛け布団のセットを買いに行きました。寝具は買うのを前提にしたほうがいいです。
ゴキブリは普通に出る。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (7人)	日本の携帯をそのまま持参(2人)	ワイヤレスで可能 (7人)	いいえ(7人)
いいえ (0人)	日本からSIMカードを持参(5人)		

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
フットボール、バスケの試合を観に行く、ジムに行く、買い物に行く、大学主催のイベントに行く	ジム、ターゲット、レストラン、
大学主催のイベント、学校内でのスポーツ観戦（アメフト、バスケ、バレー、サッカーなど）、ジム	public x（スーパー）、CVS（ドラッグストア）
私が通っていた大学は毎日のように大学内でイベントが開催されていた。そのため最初のころはできるだけ多くのイベントに参加していた。大学主催のイベントなので安全に楽しむことができる。放課後は現地の学生に連れて行ってもらい友人たちと一緒に現地のカフェなどにいたりしていた。また、大学内の図書館は遅くまでしていることもあり、よく利用していた。	放課後や夕食後はよく図書館を利用した。遅くまで開いていたので、夜は数人の友人とともに遅くまで頑張った日もあった。
大学や、ELIで様々なイベントが用意されているため、興味のあるイベントには積極的に参加していた。	テスト前になると、よく友達と図書館にいました。
イベントやボランティアには積極的に参加していました。	時間がある時は勉強しに図書館に通っていた。
イベントが盛んな大学で、ほとんど毎日何かしらのイベントがありました。参加すれば参加する分友達ができます。部活生のスポーツの大会も多く、観に行くと新鮮で楽しいです。	基本私はバイキング形式の食堂でご飯を食べました。そこで友達に会えて一緒に食べました。またレクリエーションセンターというジムもたまに通いました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
単語の勉強をしていた。
TOEIC、TOEFL
勉強面はあまりせずに留学に行きました。
クレジットカードを作る

留学前にしておけばよかったと思う準備
英語の勉強をするつもりだったが、留学前は本当にたくさんの複雑な書類や手続きがあり従来の学業やアルバイトもある場合そこに事前の勉強の時間を入れるのはなかなか難しかった、そのためずっと前からゆっくり勉強しておくべき。
簡単なイディオムを覚えておいたほうが良かったと思いました。また、日本のアニメや音楽、文化を詳しく調べておくべきでした。
スピーキング、ボキャブラリー
ポケモンについて知る
単語力を上げておくこと
英会話をもっと勉強するべきだと思った。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ヒートテック、薬。
洗濯ネット、洗濯カゴ、シャワーに持っていけるカゴ、シャワーサンダル
味噌汁。スリッパ。
手ぬぐい。
白ごはん
みそ汁、ご飯
歯ブラシ、薬品(特に風邪薬)、折りたたみ洗濯カゴ、ティッシュ、モバイルバッテリー、ジップパーカー、小さな水筒

日本から持っていく必要のなかったもの

大量の服と靴。
たくさんの服はいらない。
変圧器
シャンプー、リンス、ボディソープ
シャンプーやリンス、ボディソープ、洗濯用洗剤など
大量の味噌汁、あまり使ったことのない参考書、捨てられない洋服、お弁当箱、お箸

日本から持参すればよかったと思ったもの

お箸。
簡易加湿器、クリアファイル
日本食
おしゃれな服やカバン
日本食は自分のためにも多めに持って行くべきだと思う。出汁の味がとても恋しかった。あとは、クレジットカードは何枚か用意すべき。たまたま買えなかったり、止められたりすることがあった。
ムヒ、自分がよく読んでいた参考書、傘、サングラス

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 20 万、現金5万
クレジットカード、現金	クレジットカードはビザ、マスター、アメックスと会社が違うものを 3 枚(上限は 30 万、20 万、20 万)。現金 3 万円
現金、クレジットカード	留学費用 120 万円に加えて、現地で使うためのお金は、現金は 5 万円、クレジットカードは 50 万円程度。
クレジットカード2枚。海外のATMから現金を下ろす機能がついているデビットカード1枚。現金を少し。	クレジットカード上限20~30万。現金6, 7万円分。
クレジット	5 万

クレジットカード 2 枚と現金500ドル	クレジットカードは、上限40万円の自分のカードと上限150万円の家族カード、現金は7万円ほどをドルに変えて持って行った
クレジットカードを用意しましたが、途中で使えなくなり、途中で Apple Pay にカードを登録して使っていた。	

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
食費 40 万	テキスト代2-3万
寮 3050ドル×2 食費(ミールプラン) 1015ドル×2	テキストは約 300ドル。高いので友達から used を 20ドルぐらいで譲ってもらったりした。
大きな支払いが2回あったが、日本円で合計 80 万円ぐらい。	テキスト代は1 semester で2万円ぐらい。中古の教科書も販売されている。学内で生徒同士の販売もある。学内の寮に住んでいたため通学費は0。
住居費が3050ドル、食費が2030ドル	テキスト代は3万円ほど、交通費は0円
100 万ぐらい。	テキスト代は 3 万ぐらいあれば足りると思います。最終的に売れます。
住居費 60 万円、食費は 10 万円でミールプランに加入できて、外食する場合はそれに加えて費用必要になる	通学費は徒歩なのでお金はいらない、テキスト代は大体 5 万円程度

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など
一週間。10万。タクシー、電車、バス、飛行機。フロリダ、アトランタ。
フロリダに5日間、ニューヨークに6日間。それぞれ10万ぐらい
旅行には日本人で固まっていくことがほとんど。みんなで話し合ったり、行きたい場所が同じ人同士で共に行動をしていた。1週間ほどの休暇が留学中に2回あったが、1回目の休暇は同じプログラムの日本人全員でアメリカのフロリダに旅行をしにいった。2回目の休暇は各々が過ごしたい場所、期間で過ごした。
3回旅行に行きました。1回目は、5日間オーランド(フロリダ州)に行った。移動は飛行機とタクシーを利用した。飛行機代、タクシー代、食事代、お土産代、ディズニーのチケット代、全てで20万円ほどでした。2回目はペンサコーラ(フロリダ州)に行った。合計5万円ほどでした。3回目はアトランタ(ジョージア州)に行きました。合計は5万円ほどでした。
フロリダとニューヨークに行った
オーランドやペンサコーラビーチ、アトランタなどに行った。電車やバスが安かった。ウーバーのドライバーは高いけどとても便利だった。
私は2回ほど5日程度の休暇があり、フロリダのディズニーワールドとニューヨークに行きました。それぞれ費用は30万円以上でした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
旅行 20 万
旅行は約 10 万ぐらい。生活費として月 1 万から 2 万円ぐらい。
旅行は合計30万円、買い物は約15万円ほどです。
月に 10 万円ぐらい使っていました。
個人的な旅行や買い物で 80 万円ぐらい。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

聞き取れても返答が難しかった

英語を話すことに対して恐怖心がなくなった。コミュニケーション力もスピーキング力も上がったと感じる。

語学力は確実に付いている。常にネイティブの英語を聞いているので特にリスニング能力が1番ついた。留学前から初対面の人と話すことは得意な方だったが、さらにその能力が高まったと思う。

はじめは話すことも聞き取ることもできず悔しい思いをしましたが、段々と話せる、聞き取れるという成長を毎日感じる4か月間でした。

語学力は少し上達したと思う。また、日本に帰ってから海外に対しての見方が変わり、勉強に対しての意欲が上がった。

最初は聞き取りも難しく、呪文に聞こえた時もありましたが最後には聞き取りできることが増え、リーディングも詰まらず早く音読できるようになった。人見知り強い性格でしたが、誰とでも話せるようになるほどコミュニケーション能力は上がった。

あがった

留学前の目標とその達成度

目標: 会話できるようになる 達成度: 相槌を打ったり質問できるようになった。

会話ができるようになることと現地で友達を作ることが目標だったが達成率は6割ぐらい。

現地の友達を作るという目標を達成し、帰国した今も連絡を取る友人ができた。

現地の人に積極的に話に行くこと、語学力を上げることが目標だった。現地の人と話すきっかけを作るためにも様々なイベントに参加した。そこで友達を作ることでさらに現地の人と話す機会を得られ語学力向上に繋がれたと思う。そのため目標を達成できたと思う。

留学前の目標は、語学力の向上とアメリカの生活に慣れることが目標でした。留学最後には、無事アメリカでの生活にも慣れて沢山の友達を作ることができました。親友と呼べるほどの仲のいい現地の友達もできました。

海外に行って、いろんな国の価値観や文化を知ることができた。

できた。

留学を通しての成長ポイント

誰かに助けを求められるようになった。

初対面の人と話せるようになった。語学だけでなく問題を解決する能力がついたり、人間関係の面でも学ぶこと多かった。

英語の基礎能力はもちろんだが、何より度胸がついたように思う。留学先では、学校でも寮でも困ったことがあると自分のことばで現地の人に説明しなければならなかったため嫌でもコミュニケーション能力がつく。

行動力、コミュニケーション能力、異文化理解力、語学力が成長したと思う。

寮のルームメイトの生活からいろんな国の人との交流で、学ぶことが本当にたくさんあった。自分は積極性が身についたと思う。

私が一番成長したと思う部分はコミュニケーション能力です。元々内向的で、他の日本人がいないと不安でしたが一人で外国人しかいないイベントに参加したり積極的に一人で行動できるようになりました。

コミュニケーション能力

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

上がっていった。

英語を話すことに対して抵抗がなくなった。伝えたいことがあるのに自分の実力不足で伝わらない時はもどかしくてもっと英語を話せるようになりたいと思った。

留学前は正直様々な手続きに追われモチベーションは低かった。そして留学先に到着するとこれから頑張るぞというモチベーションが上がり全力で勉強した。1か月ぐらいすると現地での暮らしが生活として馴染みだし、モチベーションは以前ほどではなくなり、日常生活として留学生活を送っていた。留学後は、英語をもっと学びたいという意欲はあったが、やはり現地ほどの環境はないため、モチベーションを保つのは少し大変。

将来的には海外で住み、働きたいという夢ができ、この夢をかなえるために学習意欲が高まった。

アメリカの映画やドラマを見てこなかったけど、帰ってきてから見るようになった。ネイティブの友達とずっと話したいと思い、いまでも英語の勉強を続けるようにしている。

留学前は韓国語が自分の中で流行っていて、正直英語のモチベーションがありませんでした。しかし現地の友達ができ始めてから、もっと話したいと思う欲や聞き取りたいという気持ちが増えました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

現地の大学生と会話するクラス

ネイティブと留学生がディスカッションするカルチャルスピーキングの授業

最初のころはつねに 100%で頑張っていた。生活に慣れてくると特別頑張ることも手を抜くこともなかった。

現地の人との会話

元々話しかけることはできる性格でしたが、英語力が追いついていないという理由からはじめの 2 週間は英語で話すことに不安しか無かった。しかしこれではいけないと感じ、勇気を出して話しかけてみた。この時が力を振り絞った経験です。この時に意外とコミュニケーションをとれることに気づいたため、この経験は私にとってターニングポイントだと思う。

自分と現地の友達 1:1 で遊んだ事です。正直英語力は充分ではありませんでしたが、恐れずに遊びに行きました。

留学先大学の良かった点

留学先大学は、毎日のように学内にイベントがあったり、留学生のためのイベントがあったり、先生方も長い間留学生相手に授業していた人たちなので、様々なことに慣れているし、親身になって話を聞いてくれる人たちが救われたことが多くあった。また現地の生徒に英語を教わりこちらは日本語を教えるというスピーキングパートナーがあったのでそれに応募し、スピーキングパートナーを持つことができた。留学先大学はほんとうに大当たりだったと思う。

イベントが多いところが何よりも本当に良かった部分です。イベントのおかげでたくさんの友達に出会えました。また安全で綺麗な校内で満足しました。

イベントがほぼ毎日ある。アメフトが強くて楽しい。

壮大で綺麗で自然もあり、都会ではなかったけど、とても私にとって住みやすかった。

助けてくれる。

イベントが多い。本場のアメリカンフットボールが無料で見れる。図書館が夜中まで空いている。先生がとても親切で面白い。